

都会の人に癒しを ～加西でいちご狩りを楽しもう



「都会に住む人達に癒しの空間を与えたい」そう言いながら、苺を見つめるのは、柴田正彦さん（46）。柴田さんは元々はサラリーマンでしたが、地元でトマト農園を営んでいたお父さんの影響もあり、13年前から常吉町で苺農園を始めました。「娘を嫁に出すつもりで…」出荷するときはそのような気持ちで苺を送り出すそうです。また、消費者に顔を見せながら売りたいという気持ちから、直売方式にこだわります。柴田さんの苺は形は不揃いでも、味は確か。ただ甘いだけでなく苺らしい酸味も残っており、おいしさがぎゅっと詰まっている、そんな感じがします。

一方柴田さんは、ただ苺を育てて売るだけでは物足りない、と4月から5月上旬までの間、いちご狩りのために、ハウスを開放しています。一般的に「いちご狩りにはリピーターはいない」と言われますが、柴田さんのハウスには毎年顔を見せるお客様も多いとか。ただ苺を食べに来てもらうだけでなく、いちご狩りを通して、新しい農業をアピールし、都会と農村の交流をしたい、農村へ気軽な気持ちで遊びに来て欲しい、という柴田さんの考えに共感するところがあるのでしょう。

皆さんもぜひ、苺を通して農家との交流をしてみませんか？



いちご園のご案内

野田いちご園（西長町）

（0790）46-1750

（090）1487-3052

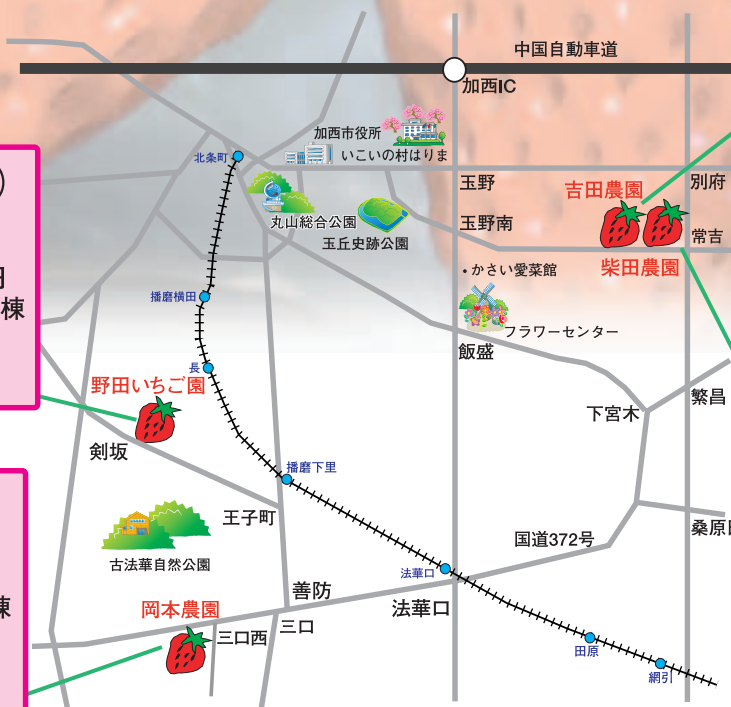
採取した苺100gにつき200円
広さ21^{アール}のビニールハウス10棟
に栽培。
正月から5月上旬まで開園。

岡本農園（三口町）

（0790）48-3362

入園料 1000円

広さ10^{アール}のビニールハウス5棟
に栽培。
4月から5月上旬まで開園。



吉田農園（常吉町）

（0790）47-0306

入園料1000円（3歳以上）
広さ16^{アール}のビニールハウス4
棟に栽培。
4月から5月上旬まで開園。

柴田農園（常吉町）

（0790）47-1184

入園料 1000円
広さ17^{アール}のビニールハウス6
棟に栽培。
4月から5月上旬まで開園。